

令和7年度 福井県立清水特別支援学校 スクールプラン

業務改善のための取組

- ・校内DX化を推進し、業務の円滑化を図る。
- ・資料の事前配付や議題の精選に努めるなど、タイムマネジメントの視点から効率的な会議運営を行う。
- ・ホームページ、Google formsの活用、家庭への連絡・調査のペーパーレス化など、速やかな情報発信や情報収集を推進する。

人権教育の推進

- ・校内研修等を通して様々な人権課題を知り、人権尊重の意識を高める。
- ・児童生徒の個性や特性を理解し、自分も他者も大切にする指導を推進して、子どもたちの自己肯定感を高める。
- ・いじめ防止を図り、豊かな人間関係の中で道徳的な心情を育む。

センター的機能の充実

- ・個に応じたよりよい支援の在り方を共有し、研修等を通して、特別支援教育に関する専門性を高める。
- ・特別支援学校の専門性を地域支援にいかす。
- ・地域の特別支援教育の状況を把握し、特別支援学級関係者に向けた効果的な研修を行う。

重点目標

1 教育課程・学習支援

個別最適な学びを実現するための授業づくりに取り組む。

2 児童生徒支援

児童生徒が個性を発揮し主体的な学校生活を送ることができるように活動や行事の改善を図る。

3 進路支援

卒業後の生活や現在の生活に必要な福祉サービスを把握し、進路に関する情報の収集発信を行う。

4 学校保健

児童生徒の健康な生活の維持・向上に努める。

5 交流及び共同学習

学校間交流・居住地校交流・地域との交流を通して共生社会の礎を築く。

具体的取組

- a 個別最適な学びを実現するための目標設定や評価を行い、保護者と共通理解を図る。
 目標：丁寧な実態把握から将来身に付けさせたい力を明確にしなが、学習指導要領を基に目標設定や評価を行う。
 80%以上
- b 個別最適な学びの在り方や支援の方法を定期的に見直しなが授業づくりに取り組む。
 目標：行動の背景や有効な支援を考えなが授業づくりを行う。
 80%以上

具体的取組

- a 学校行事において、児童生徒が見通しを持ち、日頃の学習の成果を発揮することができるように、発表内容や支援体制、環境を工夫する。
 目標：児童生徒が一人一人の特性に応じた主体的な参加ができるよう、学校行事を工夫して行う。
 80%以上

具体的取組

- a 進路支援に関するアンケートや懇談会等から児童生徒に必要な進路に関する情報や福祉サービスを把握し、発信する。
 目標：児童生徒に必要な情報を把握し、発信する。
 80%以上
- b 児童生徒に必要な進路に関する情報や福祉サービスについて、関係機関等から情報収集し発信する。
 目標：児童生徒に必要な進路に関する情報や福祉サービスに関する情報を収集し発信する。
 80%以上

具体的取組

- a 検診・検査の前にその目的や役割、手順を伝えたり、必要に応じて練習を行ったりして、児童生徒が見通しを持って検診・検査を受けることを目指す。
 目標：児童生徒が検診・検査について理解して受けることができるよう、発達段階に応じた事前学習を行う。
 80%以上

具体的取組

- a 交流相手の協力を得なが、地域の児童生徒や地域の人たちとの関わりを通して、本校児童生徒の経験を広め、地域社会の中で生活する力を養う。
 目標：交流及び共同学習において、児童生徒が自分らしく活動するために必要な支援を本校、交流相手ともに行う。
 80%以上
- b 本校の交流及び共同学習に関する情報発信や、児童生徒に対する理解啓発を進める。
 目標：情報発信を積極的に行いなが、特別支援教育への理解啓発を進める。
 80%以上